平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名　株式会社 近鉄エクスプレス　　上場取引所　東
コード番号　9375　URL　http://www.kwe.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 石崎　哲
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 乾　和雄　TEL 03-3201-2627

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	67,923	6.8	3,382	49.2	3,668	49.0	2,389	102.9
23年3月期第1四半期	63,587	39.9	2,266	211.5	2,461	201.6	1,177	292.4

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　3,729百万円　(80.3%)　23年3月期第1四半期　2,068百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	66.37	―
23年3月期第1四半期	32.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	125,545	74,395	57.5
23年3月期	120,280	71,317	57.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　72,215百万円　23年3月期　69,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	12.00	―	18.00	30.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		15.00	―	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	137,000	3.1	5,700	15.3	5,700	5.6	3,500	△11.5	97.22
通期	287,000	7.2	13,000	9.3	13,000	1.3	8,000	1.5	222.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(その他)に関する情報 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	36,000,000 株	23年3月期	36,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	627 株	23年3月期	599 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	35,999,387 株	23年3月期1Q	35,999,418 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（以下、当第１四半期という。）における世界経済は、欧米では引き続き緩やかな回復基調となりましたが、アジアにおいては中国で金融引締めの影響により景気に減速感が見られ始め、全体的に不透明感が払拭できない状況となりました。

我が国経済は、今年３月に発生した東日本大震災により大きな打撃を受けましたが、その後、サプライチェーンや生産活動の復旧が徐々に進み、本格的な回復には至らないものの上向きの動きが見られ始めました。

当社グループの当第１四半期の航空貨物輸送は、海外では欧州及び東南アジア地域で特に大きな伸びを見せた一方、日本では震災による部品や資材の供給・調達の停滞もあり、全体としてはほぼ前年並みの物量にとどまりました。航空運賃原価は、前年同期のような上昇は見られませんでしたが、原油高に起因した燃油サーチャージの高止まりが続きました。グループ全体の航空輸出貨物重量は前年同期比4.5%増、航空輸入貨物件数は同0.5%増となりました。また、海上貨物輸送は、輸出容積で前年同期比6.3%増、輸入件数で同5.9%増となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

＜日本＞

航空輸出貨物は、東日本大震災後の復旧の進捗に伴い、欧米向けに自動車関連品で緊急輸送の取扱いがあったものの、アジア向けには前年同期の好調な取扱いの反動が大きく、取扱重量は前年同期比10.7%減となりました。航空輸入貨物は、半導体製造装置等の取扱いが堅調に推移しましたが、電子部品等の荷動きが減少し、取扱件数は前年同期比4.1%減となりました。海上輸出貨物では、設備関連輸送が堅調であった一方、化成品関連の出荷が大幅に減少し、取扱容積で前年同期比10.1%減となりました。海上輸入貨物では、断熱材など震災復興関連資材やＰＣ周辺機器等が増加し、取扱件数で前年同期比8.2%増となりました。この結果、国内関係会社を含めた日本の営業収入は29,116百万円（前年同期比1.4%増）となり、営業利益は直接原価率の低減に努めたため、1,003百万円（同47.9%増）と大幅に増加しました。

＜米州＞

航空輸出貨物は、半導体・液晶関連を中心としたエレクトロニクス関連品の順調な荷動きにより、取扱重量は前年同期比9.0%増となりました。航空輸入貨物は、多機能携帯端末関連品の増加もあり、取扱件数で前年同期比2.4%増となりました。海上貨物は、輸出で食品関連の取扱いが増加し、取扱容積で前年同期比16.5%増となった一方、輸入では日本からの輸送需要が減少し、取扱件数で同9.6%減となりました。この結果、米州全体の営業収入は8,418百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は393百万円（同9.5%減）となりました。

＜欧州・中近東・アフリカ＞

航空輸出貨物は、前期からのユーロ安の追い風やメディカル関連品でのビジネス拡大もあり、取扱重量は前年同期比36.6%増と大きく増加しました。航空輸入貨物は、ユーロ安の影響を受けながらも自動車関連品や中・東欧向け薄型テレビ関連品等が増加し、取扱件数は前年同期比1.1%増となりました。海上貨物は、輸出では中東向けの出荷やメディカル関連品の取扱い増加により、取扱容積で前年同期比16.2%増となり、輸入でもエレクトロニクス関連品を中心に物量が伸び、取扱件数は同9.3%増となりました。この結果、欧州・中近東・アフリカ全体の営業収入は6,466百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益は185百万円（同71.4%増）となりました。

＜東アジア・オセアニア＞

航空輸出貨物は、薄型テレビ関連品や多機能携帯端末関連品での堅調な輸送需要が見られたものの、取扱重量は前年同期比0.6%増にとどまりました。航空輸入貨物では、電子部品を中心としたエレクトロニクス関連品が増加し、取扱件数は前年同期比3.3%増となりました。海上貨物は、輸出でプリンター等の好調な出荷があり、取扱容積で前年同期比17.4%増となり、輸入ではエレクトロニクス関連品の順調な増加により、取扱件数で同7.5%増となりました。この結果、東アジア・オセアニア全体の営業収入は17,930百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は1,258百万円（同70.1%増）となりました。

＜東南アジア＞

航空輸出貨物は、半導体等大手エレクトロニクス関連顧客の好調な出荷に加え、薄型テレビ関連のスポット貨物が大きく寄与し、取扱重量は前年同期比34.4%増となりました。航空輸入貨物は日本からの貨物が減少し、取扱件数は前年同期比0.3%増にとどまりました。海上貨物は、輸出で大手荷主の取扱いが減少し、取扱容積で前年同期比6.6%減となりましたが、輸入ではエレクトロニクス関連品を始め全体的に堅調な荷動きが見られ、取扱件数で同5.1%増となりました。この結果、東南アジア全体の営業収入は7,062百万円（前年同期比28.4%増）、営業利益457百万円（同56.8%増）となりました。

以上のとおり、当社グループは一体となって販売活動を推進し、加えて固定費、流動費の抑制を継続して実施してまいりました。その結果、当第１四半期の連結営業収入は67,923百万円（前年同期比6.8％増）、営業利益は3,382百万円（同49.2％増）、経常利益は3,668百万円（同49.0％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、営業未収入金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べて5,265百万円増加し、125,545百万円となりました。

負債は、営業未払金や短期借入金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ2,186百万円増加し、51,149百万円となりました。純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ3,078百万円増加し、74,395百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、海外経済の減速懸念、日本における電力問題、原油価格の高止まりや円高基調の継続など不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは中期経営計画（平成23年3月期～平成25年3月期）に策定のとおり、今後さらに成長が見込まれるアジア地域を中心に海外展開を加速していくとともに、従来からの主軸である航空貨物輸送に加え、海上貨物輸送、ロジスティクスの各事業をグループ一丸となり、積極的に拡大してまいります。

以上のとおり、当社グループの業績は世界景気、為替や原油価格の動向などにより変動する可能性もありますが、現時点における平成24年3月期の業績予想は平成23年５月11日に公表したとおり、営業収入は287,000百万円（前期比7.2％増）、営業利益は13,000百万円（前期比9.3％増）、経常利益は13,000百万円（前期比1.3％増）を見込んでおり、変更はありません。

（注）業績の予想に関する注意事項

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,755	32,936
受取手形及び営業未収入金	42,415	46,052
その他	3,939	4,302
貸倒引当金	△246	△256
流動資産合計	77,864	83,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,972	19,025
土地	10,705	10,762
その他（純額）	3,086	3,206
有形固定資産合計	32,764	32,994
無形固定資産		
のれん	355	359
その他	1,475	1,409
無形固定資産合計	1,830	1,769
投資その他の資産	7,820	7,747
固定資産合計	42,415	42,510
資産合計	120,280	125,545
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	19,842	21,319
短期借入金	9,094	11,122
未払法人税等	1,956	1,152
賞与引当金	1,698	1,138
役員賞与引当金	205	92
米国独禁法関連引当金	1,014	1,014
その他	8,517	8,693
流動負債合計	42,329	44,533
固定負債		
長期借入金	4,850	4,822
退職給付引当金	1,042	1,081
その他	740	711
固定負債合計	6,633	6,616
負債合計	48,963	51,149

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,216	7,216
資本剰余金	4,867	4,867
利益剰余金	64,333	66,074
自己株式	△1	△1
株主資本合計	76,415	78,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	32
為替換算調整勘定	△7,163	△5,973
その他の包括利益累計額合計	△7,084	△5,941
少数株主持分	1,985	2,180
純資産合計	71,317	74,395
負債純資産合計	120,280	125,545

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
営業収入	63,587	67,923
営業原価	54,043	57,240
営業総利益	9,543	10,683
販売費及び一般管理費	7,277	7,300
営業利益	2,266	3,382
営業外収益		
受取利息	30	46
受取配当金	22	5
負ののれん償却額	8	8
為替差益	161	74
持分法による投資利益	－	90
雑収入	41	129
営業外収益合計	265	355
営業外費用		
支払利息	67	58
持分法による投資損失	0	－
雑支出	2	10
営業外費用合計	70	68
経常利益	2,461	3,668
特別損失		
固定資産除却損	－	8
ゴルフ会員権評価損	－	17
投資有価証券評価損	－	16
子会社清算損	－	15
特別損失合計	－	58
税金等調整前四半期純利益	2,461	3,610
法人税等	1,188	1,066
少数株主損益調整前四半期純利益	1,273	2,543
少数株主利益	95	154
四半期純利益	1,177	2,389

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,273	2,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	282	△14
為替換算調整勘定	527	1,232
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△32
その他の包括利益合計	794	1,185
四半期包括利益	2,068	3,729
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,902	3,532
少数株主に係る四半期包括利益	165	197

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	日本	米州	欧州・中近東・アフリカ	東アジア・オセアニア	東南アジア	計				
営業収入										
外部顧客への営業収入	28,441	7,385	5,080	17,186	5,421	63,515	72	63,587	－	63,587
セグメント間の内部営業収入又は振替高	263	335	210	202	80	1,091	457	1,549	△1,549	－
計	28,704	7,721	5,290	17,388	5,501	64,606	530	65,137	△1,549	63,587
セグメント利益	678	434	107	740	291	2,253	27	2,280	△14	2,266

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去です。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「東南アジア」セグメントにおいて、連結子会社であるKINTETSU INTEGRATED AIR SERVICES SDN.BHD.の少数株主が保有する全株式を当社が取得いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第１四半期連結累計期間においては272百万円です。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	日本	米州	欧州・中近東・アフリカ	東アジア・オセアニア	東南アジア	計				
営業収入										
外部顧客への営業収入	28,871	8,032	6,221	17,747	6,979	67,851	72	67,923	－	67,923
セグメント間の内部営業収入又は振替高	245	386	245	183	83	1,143	414	1,557	△1,557	－
計	29,116	8,418	6,466	17,930	7,062	68,994	487	69,481	△1,557	67,923
セグメント利益	1,003	393	185	1,258	457	3,298	96	3,394	△12	3,382

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去です。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。